

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム わたしのお家

目標達成計画

作成日: 平成 22年 8月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践	玄関側に交通量の多い道路に面し、JRの踏み切りがあり、利用者の安全面を考慮し、かぎをかけているが、職員全員鍵をかけることの弊害を理解しているので鍵をかけない努力をしていく。	利用者一人ひとりの生活パターンや癖を把握し、職員が見守り出来る時間帯や、利用者職員が、リビングで全員で取り組んでいる行事や食事等の時間帯の鍵の開錠を目指す。	6ヶ月
2	14	人権教育・啓発活動	職員会議やミーティング時にオーナーや管理者が利用者の人権について、常に話しているが、記録していないので、記録の整理をしていく。	運営推進会議や職員会議時に外部から講師を招聘し、人権学習を開催し、開催日時、内容、出席者を記録していく。	12ヶ月
3	22	馴染みの人や場との関係継続の支援	利用者の親戚、友人、知人にホームに遊びに来てもらったり、電話をかけたたりして、関係継続のしえんをしていく。	利用者の馴染みの場所が遠い方が多いので、家族やボランティア、職員の頑張りで、馴染みの場所の関係継続を目指す。	12ヶ月
4	37	災害対策	現在スプリンクラーの申請を提出中で、消防署の指導で年2回消防訓練を実施している。地域の方の協力と夜間想定避難訓練の実施。	運営推進会議を活かして、地域住民参加の夜間想定避難訓練実施と、非常災害時の非常食、飲料水、毛布等の備蓄の準備。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。